

河川激甚災害対策特別緊急事業

通称：激特事業

企画・発行

「激特事業」とは、国（建設省）や県が管理する河川において、激甚なる災害が発生したとき、再びこのような災害が起らないようにするため、特別に、緊急に、その対策をするための事業のことです。

建設省九州地方建設局延岡工事事務所
〒882-0803 宮崎県延岡市大貫町1丁目2889 TEL(0982)31-1155



あ
の
台
風
1
9
号
の
、
あ
の
惨
劇
を
再
び
繰
り
返
さ
な
い
た
め
に
！

流域の未来を拓くために、
五ヶ瀬川水系北川で
進められている「激特事業」。
いったいどこで？どんな工事を？
事業の概要をご紹介します！

北川町の被災状況

北川 激特!

検証：平成9年9月16日、台風19号と五ヶ瀬川水系北川

当時の五ヶ瀬川水系北川の 被害状況マップ。



あのような惨劇を二度と繰り返さない！

流域が未来に誓った平成9年9月16日の大出水。

絶え間なく降りしきる雨、かつてない大洪水に破堤し、氾濫する川…。台風19号の影響で13日より降りだした雨は、13日から15日にかけての累計雨量は100～200mmでしたが、16日は500mmを越えるところもあり、極めて短時間に集中した大雨でした。このため五ヶ瀬川水系北川や祝子川流域では、各観測所でそれまでの最高水位を越える水位を記録。各地で河川の氾濫や内水による床上浸水など、激甚な被害が発生しました。

補助区間：川島橋より上流
県が直接管理を行なっている区間



平成9年9月 大出水データ

DATA 1
9月16日大出水による
北川の被害状況

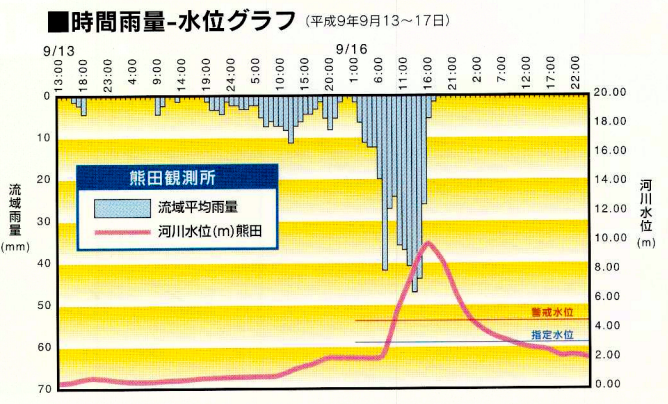
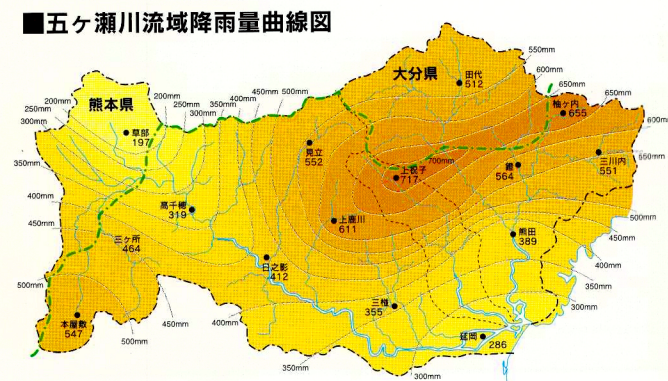
■その他の施設

社会福祉施設 ・社会福祉施設 こばと保育園
・知的障害者通所授産施設 のそみ園
・老人保健施設 壱呂苑

病 院 2施設
学 校 等 4施設

■一般被害総括表

被害の程度	単位	被害の程度			
		北川全体	直轄区間	補助区間	
浸水面積	宅 地	ha	235	228	7
	田・畑	ha	588	258	330
	その他	ha	55	24	31
計	ha	878	510	368	
家屋被害	全 壊	戸	1	0	1
	軒下浸水	戸	126	0	126
	床上浸水	戸	869	474	395
計	戸	599	541	58	
事業所	軒下浸水	戸	28	0	28
	床上浸水	戸	254	217	37
	床上浸水	戸	17	9	8
計	戸	299	226	73	
合計	戸	1,894	1,241	653	



北川 激特!

北川激特事業は、「安全な暮らし」と「豊かな自然」を21世紀に守り伝えていくために、地域と一体となって取り組むプロジェクトです。

未曾有の大出水によって陸の孤島と化した北川流域を救うために、力強くスタートした激特事業。事業は建設省(直轄区間：川島橋より下流)と宮崎県(川島橋より上流)により進められますが、本事業の大きな特徴は、河川法改正に伴い、「治水」「利水」に加え、「環境」に大きく配慮している点です。北川にある豊かな自然環境をできるだけ損なうことなく、暮らしの安全を確保する。そんな21世紀に向けての新しい川づくり、ふるさとづくりの夢をカタチにしていきます。

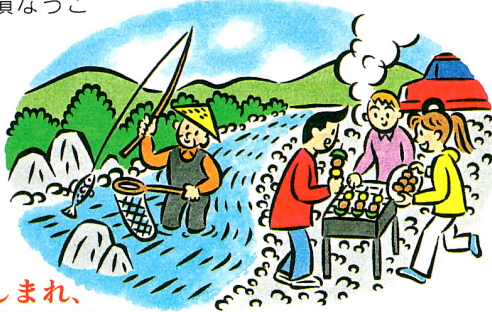
五ヶ瀬川水系北川激特事業の主な整備方針

五ヶ年計画で進められる「北川激特事業」、その整備方針のポイントをご紹介します。

地域や自然環境への配慮

五ヶ瀬川水系北川は、アユ漁やレジャーなど、地域住民の憩いの場として親しまれており、また、希少な生物が棲息する豊かな自然環境が残された河川です。そこで、これらの社会環境や自然環境を損なうことのない治水計画の策定を行なっています。

地域に親しまれ、豊かな自然を未来に伝えるための川づくりを

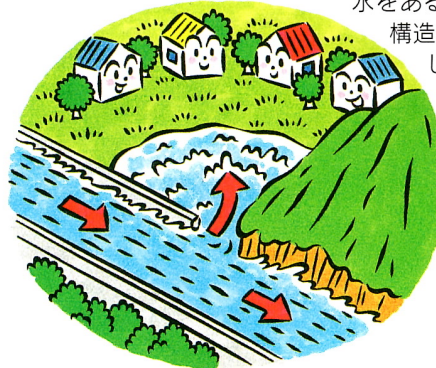


地域に親しまれ、豊かな自然を未来に伝えるための川づくりを

かすみ

霞堤方式の踏襲

北川では、河道の規模が小さく、加えて河道沿いに山が迫っているため、これまで霞堤(河川全体の安全性を保つために、洪水をある程度陸地側に導く構造の堤防)方式を採用

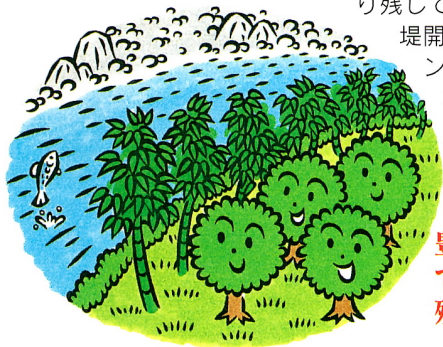


しています。そこで、今事業においても、引き続き、霞堤方式により整備を進めていきます。

地形(自然)を考慮した最適な治水計画を

樹木への配慮

河道近辺の樹木は、樹木が持っている機能を考慮し、できる限り残していきます。また、霞堤開口部には、スクリーン効果を期待し、竹林を移植します。



豊かな緑をできるだけ残していきます

施工とモニタリング

河道掘削や樹木の伐採などによる、瀬や淵の変化、あるいは生物環境への影響については、モニタリング(※1)を重ねながら最適な対処方法を検討しつつ、事業を進めていきます。

(※1) モニタリング：追跡調査

環境に配慮して施工を進めていきます



北川激特事業のあゆみ

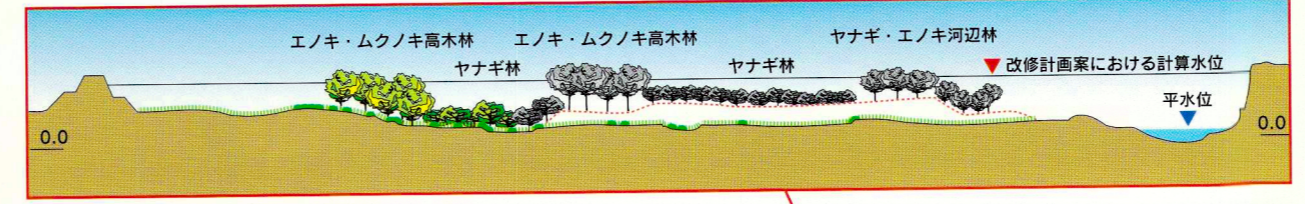
- | | |
|--------------------------|---|
| 平成 9年 9月 16日 | 台風19号の影響による集中豪雨により、五ヶ瀬川水系流域各地に激甚な被害が発生。 |
| 平成 9年 11月 19日 | 政府より「河川激甚災害対策特別緊急事業(激特法)」に採択。(5年間で事業費190億5000万円) |
| 平成 9年 12月 14日 | 北川河川改修整備促進期成会の主催により、延岡市で一級河川北川激特事業促進決起大会を開催。 |
| 平成10年 1月 7日 | 北川町・同町議会・同自治公民館連絡協議会の主催により、北川町で北川町台風19号災害復旧促進大会を開催。 |
| 平成10年 2月 20日
～ 9月 16日 | 北川「川づくり」検討委員会が開催される。 |

北川激特事業計画マップ

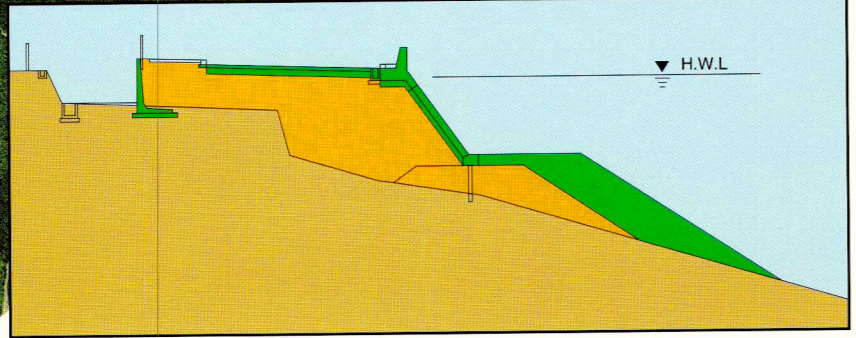
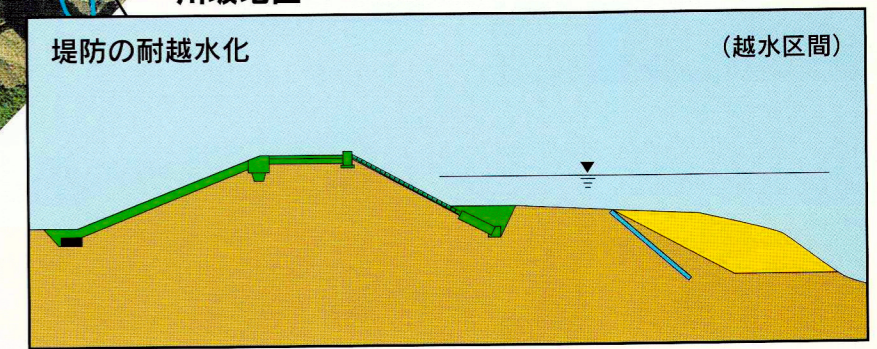
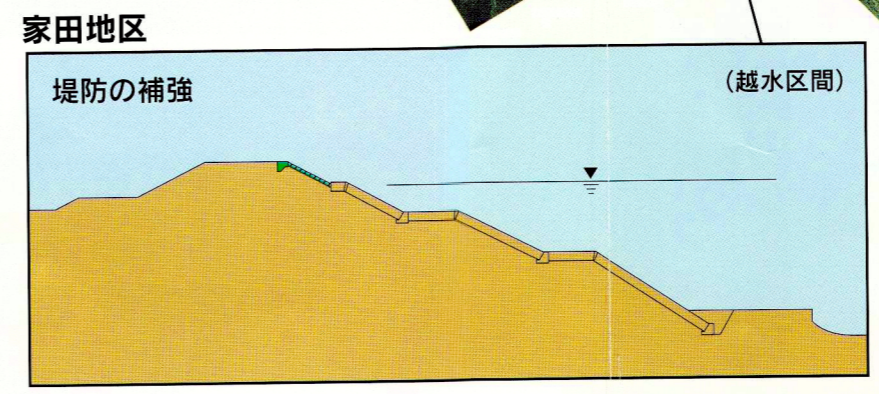
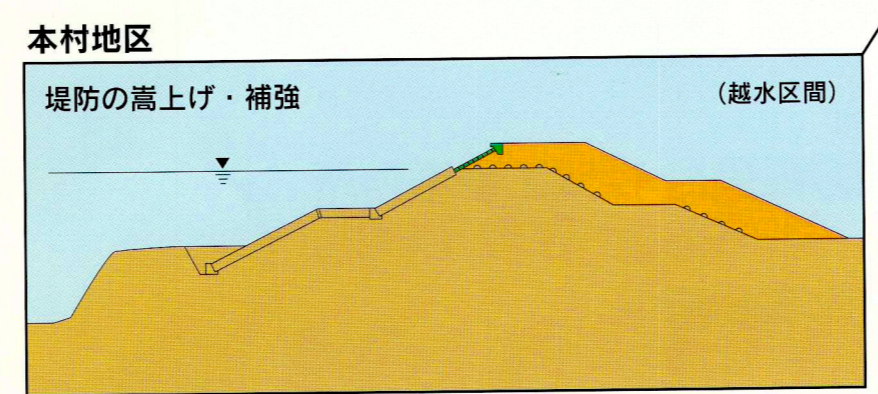
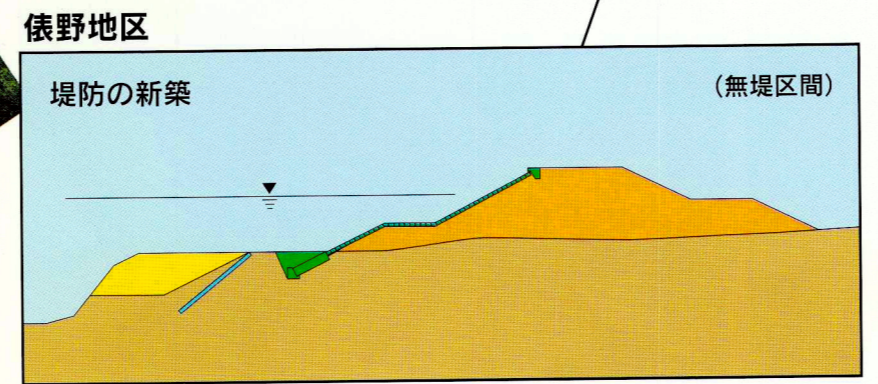
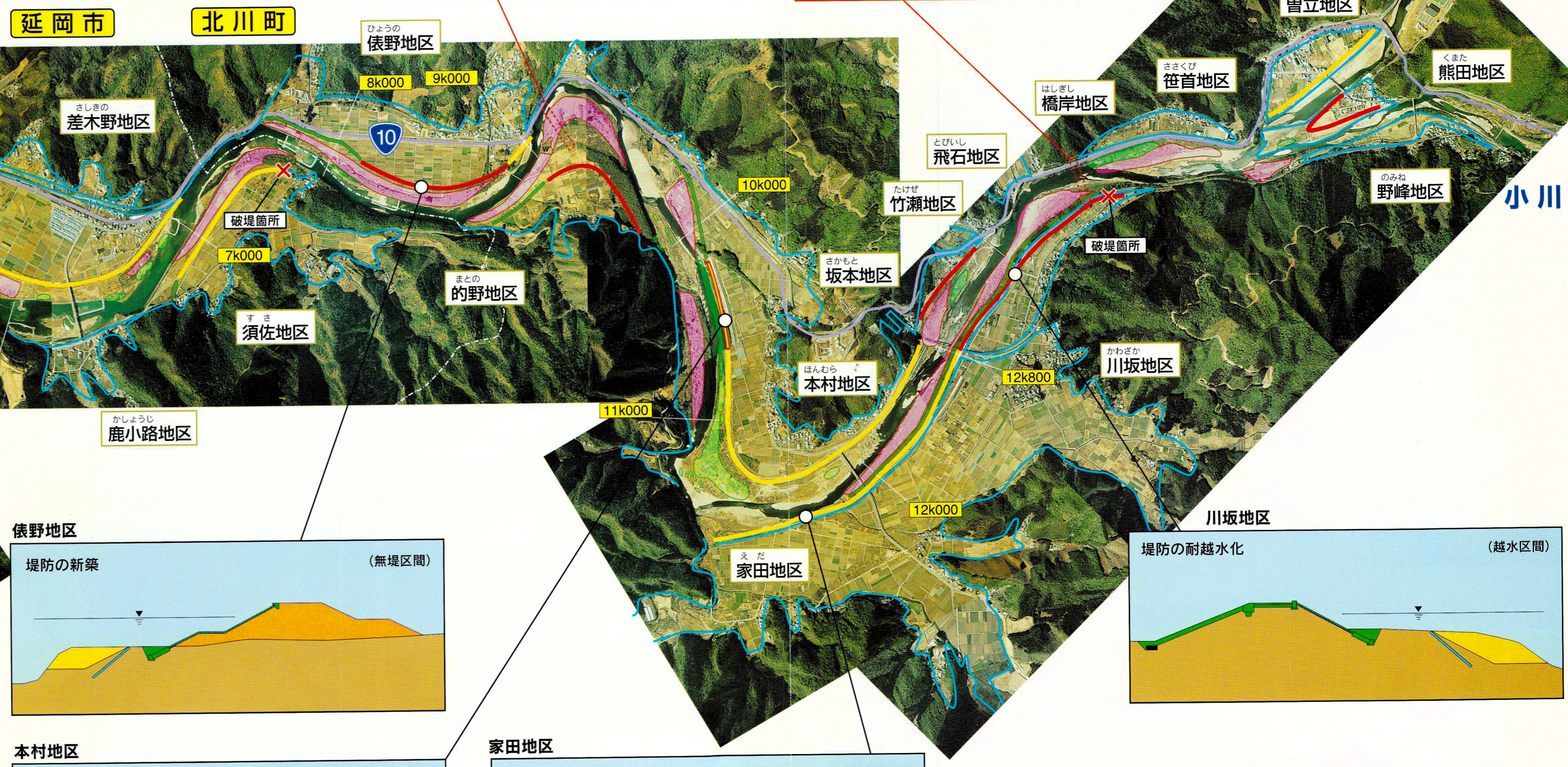
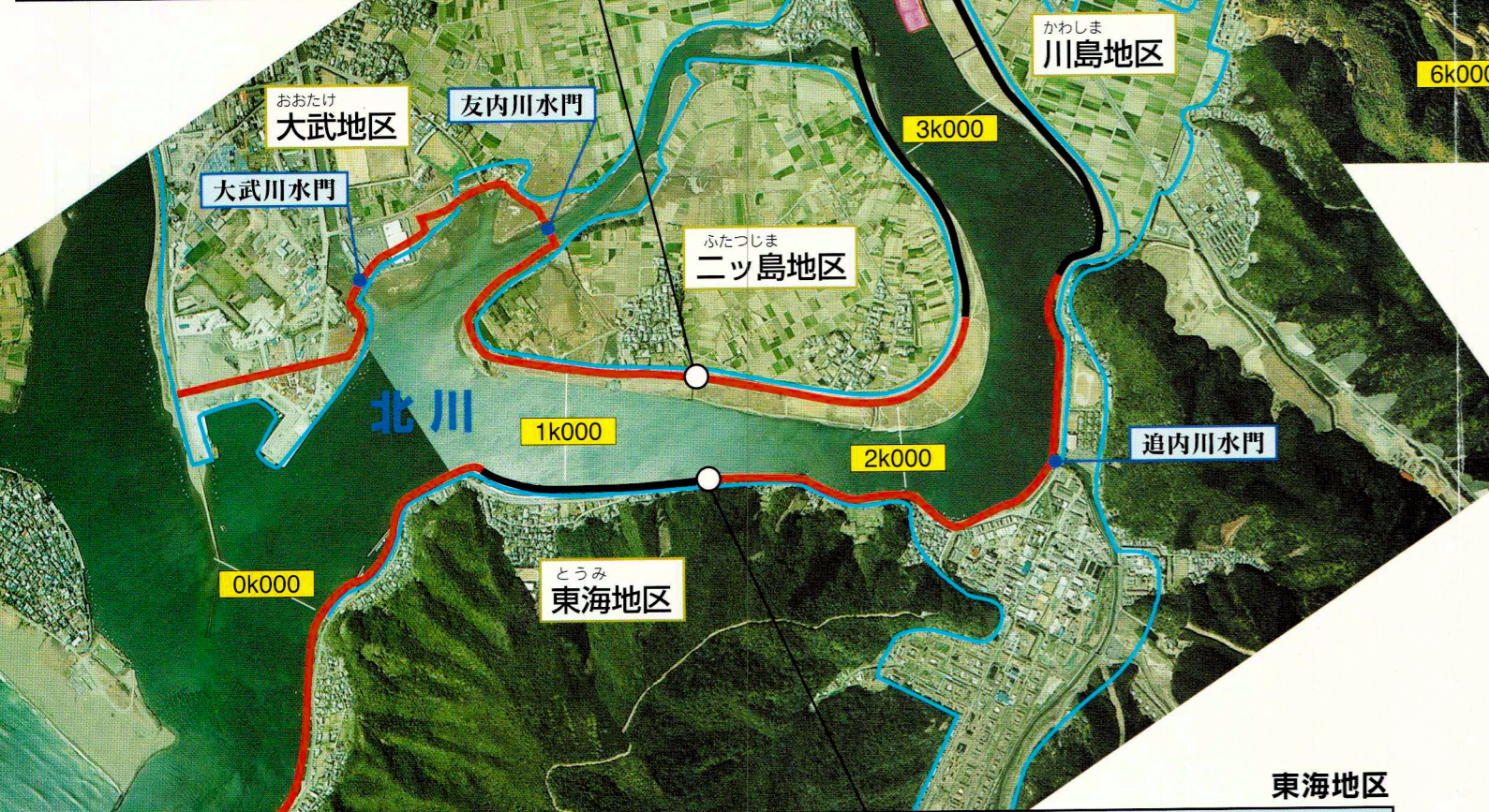
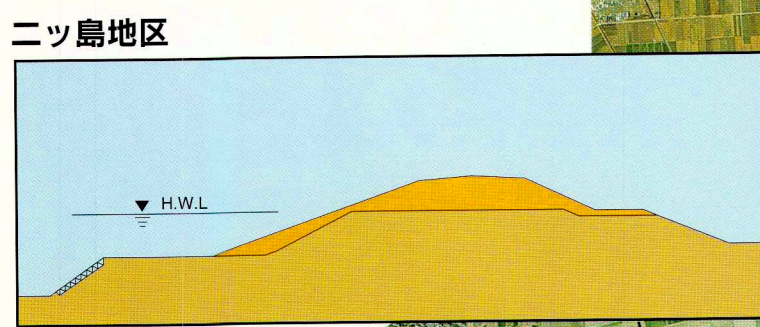
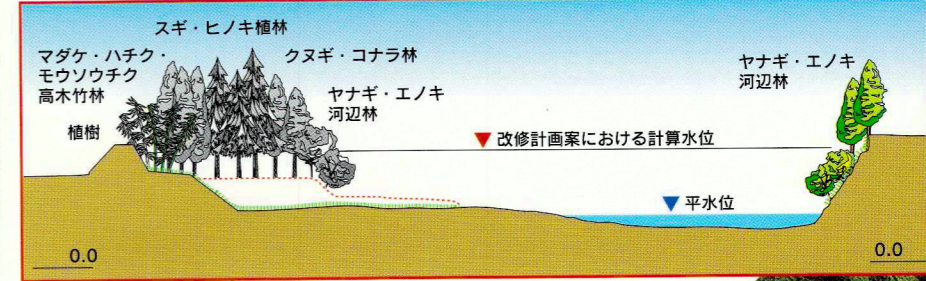
北川激特事業では、樹木等、周辺の自然環境をできるだけ活かしながら、なおかつ河川全体の安全性を確保する工法を組み合わせ、工事を進めていきます。

- 事業期間 平成9年度～13年度
- 事業費 190.5億円
- 直轄区間：約119億円
- 補助区間：約71.5億円

■改修後河道の断面状況予想図（9K200附近）



■改修後河道の断面状況予想図（13K800附近）



凡例		横断面の凡例	
	掘削		浸水区域
	樹木伐採		築堤
	竹林移植		堤防の強化
	W ワンド		越流堤の高上げ
	完成堤		現況形状
			堤防盛土部
			護岸（耐越水化含む）
			掘削部
			掘削部低水護岸

北川 激特!

河川激甚災害対策
特別緊急事業

検討委員会開催の様子（第1回目）



一般公開方式で行なわれた検討委員会の様子（第3回目）



現地検討委員会



北川「川づくり」検討委員会のご紹介

北川の豊富な自然環境を、できるだけ損なうことなく事業を進めるため、新しい川づくりに際しては、質の高い河川空間を整備を目的に、さまざまな立場の意見を取り入れるため、北川「川づくり」検討委員会を設立しました。検討委員会は、河川環境に詳しい専門家はもとより、地元住民のみなさんの意見をできるだけ反映した川づくりを行なうため、地域の代表者をメンバーに加えました。現在検討委員会により具体的な方針や施策などが決まり、今後は工事を進めながらモニタリングを重ね、事業を進める予定ですので、流域のみなさん、どうぞよろしくお願いいたします。

■北川「川づくり」検討委員会メンバー構成表

氏名等	所属等
■委員長	
杉尾 哲	宮崎大学工学部教授
■学識経験者	
赤崎 正人	赤崎魚類研究所長（魚介類）
小野 勇一	九州大学名誉教授（動物生態学）
菊屋 奈良義	大分野生物研究センター副理事長
中島 義人	宮崎自然環境調査研究会代表（昆虫・鳥類）
成迫 平五郎	聖心ウルスラ学園高等学校教諭（植物類）
島谷 幸宏	土木研究所 河川環境研究室長
藤田 光一	土木研究所 河川研究室長
■マスコミ	
函師 猛彦	宮崎日日新聞社論説委員会委員長
■地域代表	
伊藤 力正	元公民館長（北川町）
土井 祐子	宮崎の地域づくりを楽しむ会代表世話人（延岡市）
甲斐 茂	延岡漁業協同組合長
横山 延市	東海漁業協同組合長
米田 稔男	北川漁業協同組合長
櫻井 哲雄	延岡市長
盛武 義美	北川町長
■事務局	
	建設省九州地方建設局
	宮崎県 河川課

水清く、緑豊かな水郷 — 北川



◎的野地区



◎本村地区

事業に関するお問い合わせ、ご要望は

建設省 九州地方建設局 延岡工事事務所

〒882-0803

延岡市大貴町1丁目2889

☎ **0982-31-1155**

宮崎県 延岡土木事務所

〒882-0872

延岡市愛宕町2丁目15番地

☎ **0982-21-6225**

までお気軽にどうぞ。

北川激特事業は
みなさんの
お声がベースです